

公明党八王子市議会議員

○看護師
○早期発達支援士
○防災士

とみなが 純子(富永) ニュース

TOMINAGA
JUNKO
NEWS
No.05



とことんやります！とみなが純子！

住所 〒193-0802 八王子市犬目町968-8

ホームページ



LINE



検索の場合は
LINE@ID
@ysn7374z



ごあいさつ

日頃より真心からのご支援を賜り心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大の中、医療従事者をはじめ現場の最前線でご尽力されている皆様に、心からの敬意と感謝を申し上げます。

市民の皆様からのお声を公明党のネットワークを通して、国・都・市政に届け、感染対策に全力で取り組んでまいりました。一日でも早い感染の収束をお祈りするとともに、市民の皆様の安心安全のため、誠心誠意働いてまいります。今後とも、皆さまのご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



とみなが 純子

2020年★第1回・2回定例会より

▶発達障がい児支援について

富永: ペアレントトレーニングは、発達障がい児のコントロールできない行動への対応や上手なほめ方など**家族を支援するプログラム**です。新設される幼児教育保育センター事業に、家族の支援として大変有効なペアレントトレーニングの導入を要望いたします。

答弁: 家族支援を拡充するため、関係団体と協議してまいります。

▶自主防災力の向上をめざして

富永: 災害が発生した際、**高齢者や障がい者など支援を要する方の支援計画**が、殆どできていないことは大きな問題です。支援体制の強化・推進を求めます。

答弁: 実行性のある支援策の確立と個別支援計画のような平時から顔が見える関係づくりに取り組んでまいります。

▶共助で支える高齢者支援について

富永: 高齢者の買い物や通院をボランティアが自分の車で移動を支援する場合、現在はボランティアの保険が使われています。支援者が不安なく活動できるように、事故の場合、市も**損害賠償を負担**するなど改善すべきであると考えます。

答弁: 活動時に適用される保険の活用について検討してまいります。



皆様のお声が**カタチ**に！



犬目町955付近 路面表示



川口町2015付近 水路補修



川口町1510付近 カーブミラー設置

市議会公明党ニュース

複合災害に備え**市内避難所**を調査

東村くにひろ都議、市議とともに



昨年10月、日本各地で猛威を振るった台風第19号——市内に36か所の避難所が開設され、3,732世帯・8,457名の市民が避難所に避難しました。

新型コロナウイルス感染が予断を許さない中、今年も台風シーズンが近づいてきたことから、公明党八王子総支部として東村くにひろ都議と市議会議員が連携して6月30日、7月2日の2日間にわたって市内の避難所を調査しました。

東村都議が調査に当たった避難所は、台風第19号で被害が大きかった地域のうち、浅川小学校【写真】、元木

小学校、中野北小学校の3カ所。体育館や教室など各施設の確認と、防災倉庫の状況を把握しました。

立ち会った学校関係者および地域の方からは、前回同様の避難者数に対応するのはスペース的に困難、避難所運営の在り方を見直す必要がある、などの意見が寄せられました。

今回の現場調査で様々な問題が浮き彫りになり、今後の防災・減災を進める上で大変貴重な機会となりました。東村都議は、コロナ対策を講じた避難所運営に関し、都議会公明党としても検討する決意を述べていました。

給食センター2施設が稼働開始 中学校の完全給食に向けて

八王子市の給食センター2施設がこのほど完成し、6月15日、市内11の中学校向けに配食を開始しました。市内5カ所に建設する給食センターのうち、最初の2施設の稼働開始となります。今後、給食センター3施設が順次開設されることになっています。

先行してオープンしたのは、南大沢【写真】と元八王子の2施設で、調理能力は各2,500食。給食センターは「はちっこキッチン」と愛称が決まりました。南大沢からは由木中・宮上中・松が谷中・別所中・松木中の5校、元八王子からは長房中・元八王子中・四谷中・城山中・恩方中・加住小中学校の6校に保温食缶で給食が届けられ、生徒から好評を博しています。

中学校給食の導入は、市議会公明党が半世紀に渡って訴えてきた重要テーマでした。3年ほど前、公明党提案のセンター方式で完全給食を実施する方針が決定、事態は大きく進み始めました。最終的に1万5,000食の調理体制を構築すべく、センター5施設を整備します。災害時は避難者に食事を提供することとしており、地域の安心拠点としての機能も発揮します。



コロナ緊急要望が市補正予算に反映

市議会公明党は、石森市長に対し、計4回、43項目にわたる、コロナ対策緊急要望書を提出しました。4月補正、5月補正に加え、6月18日開催の市議会本会議で成立した補正予算にも、公明党の要望が数多く反映されています。補正予算などに反映された主な項目を紹介します。

- 学生支援特別給付金(一人10万円。定員800人)
- 臨時学生等雇用促進奨励金(1人月額5万円上限)
- 生活困窮者への緊急食品支援(支援活動に要する食品購入費)
- 子ども食堂活動支援(食品購入費、送料等)
- ひとり親家庭総合支援金(テレワークのスキルを習得等)
- 中小企業者パワーアップ補助金(新製品開発や販売促進に係る経費など)
- 事業継続緊急支援金(期間により最大100万円)
- テナント家賃緊急支援金(5万円×3カ月)
- 防災倉庫整備(室内テント、フェイスシールド、非接触検温計など)
- 自主防災向け衛生用品購入(感染症防護対策セット、手袋など)
- GIGAスクール環境整備(小中学生に一人1台端末整備)
- PCR外来の開設(市内医療機関からの紹介で受診)